

コンパイル

`./compile.sh`

→ 実行ファイル「midi2pianoroll」「pianoroll2midi」ができるはず。

midi2pianorollの使い方

test.midがあるとする。

`./midi2pianoroll 0 test`

でテキストファイル「test_spr.txt」が作成される。

`./midi2pianoroll 1 test`

でテキストファイル「test_ipr.txt」が作成される。

spr (spelled pitch pianoroll) と ipr (integer pitch pianoroll)の違いはピッチの表示の仕方。次項目参照。

データ形式

sprファイルの形式は次の通り。

```
//Version: PianoRoll_v170101
0      3.93125      4.9125      D4      55      80      0
1      4.3708333    4.6645833    G4      41      80      0
2      4.6645833    4.8833333    B4      49      80      0
3      4.90625      5.2041667    G4      48      80      0
4      5.1666667    6.5916667    B3      61      80      0
5      5.51875      6.275 E4      69      80      0
.
.
.
```

各行は音符に対応。オンセット時刻の順にソートされている。左から順に、
ID オンセット時刻 オフセット時刻 ピッチ オンセットベロシティー オフセットベロシティー チャンネル
時刻は秒単位。ピッチはA4=440Hz=60、シャープやフラットは適当に割り振られている。

iprファイルでは、ピッチ以外は上と同じ。
ピッチはMIDIノート番号はA4=440Hz=60で記されている。

pianoroll2midiの使い方

`./pianoroll2midi in_spr/ipr.txt out.mid`

で入力ファイル「in_spr.txt」又は「in_ipr.txt」からMIDIファイル「out.mid」が作成される。

入力ファイルのファイル名は「spr.txt」あるいは「ipr.txt」を含む必要があるので注意。